

## 「今」と「未来」のために、今私たちができること

[目標17] パートナーシップで目標を達成しよう



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が**“自分のこと”**として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



ODA  
(政府開発援助)

先進国が途上国に対して  
行う技術支援や資金援助

- [日本の ODA 実績  
(29カ国中)]
- 支出総額、贈与相当額  
→3位
  - 国民総所得に対する割合  
→12位

SDGsの達成には、先進国や途上国を問わず、全ての国々の積極的な取り組みと、世界中の企業や団体、個人などさまざまなレベルで協力していくことが重要です。一方で、途上国では資金や技術などが十分でなく、自国だけで取り組みを進めることが難しい状況にあり、先進国をはじめとした他の国々からの支援を必要としています。

日本では、途上国に対して国や企業などでさまざまな協力を行っており、ODA(政府開発援助)の額は世界の上位となっています。

私たち一人一人もSDGsを「自分のこと」として関心を持ち、互いに理解し協力し合いながら、「今」と「未来」のために何ができるのかを考え、今日から行動していきましょう。

### 日常生活でできる取り組み

- 支援団体へ募金や寄付をする
- SDGsに関心を持ち、問題となっていることを調べる
- 地域活動やボランティア活動に参加する

### 市の取り組み

- 自治体や企業などとの連携協定  
→災害や防犯、地域の見守り、子育て、農業などあらゆる分野で連携を図り、相互の発展につなげていく
- 友好都市交流事業  
→友好交流都市(座間市・宮古市)、有縁交流都市(宮崎市)との交流・連携により、相互の発展につなげていく